

氏名	柴田 由里子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	母性看護学 助産学				
学位	修士（保健学）				
学歴	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 卒業 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 修士課程 修了 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 在籍中				
経歴	2021年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部助教				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本小児保健学会、日本母性衛生学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	臨地での母性看護学実習に近づけた学内代替実習の工夫と実践	共同	日本看護シミュレーションラーニング学会 第3回（オンライン）	千葉真希子、山本英子、柴田由里子、斎藤未希、東原亜希子	2022,2,19	
2	ハイブリッド型母性看護学実習でのオンライン実習の実践と課題	共同	日本看護シミュレーションラーニング学会 第3回	東原亜希子、斎藤未希、千葉真希子、柴田由里子、山本英子	2022,2,19	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし					
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	母性看護学Ⅱ		4	【進行性変化と新生児の抱き方】看護学科130名の臨地実習経験のない学生対象。授乳の観察、指導方法を主担当で演習実施。褥婦との接し方等教員がデモンストレーションを行いイメージ化を図る工夫を行った。		
2	周産期のケア		2	【母乳育児支援】助産系24名の学生対象。感染状況に伴い、前日に急速対面から遠隔演習に変更し主で担当した。事例を用いて各事例に合った観察やアセスメントをGWで実施して学びを共有できるよう工夫した。		
3	周産期のケア		12	【集団指導】助産系24名の学生対象。妊婦を対象に妊娠週数に合った集団教育を実施した。Zoomを中心のグループワークだが、学生のアイディアを引き出して妊婦参加型の教育に工夫を凝らした内容となった。		
4	周産期のケア		1	【CTG】助産系24名の学生対象。CTGの取り扱いや産婦への配慮と基本的な実践に加え、CTGだけに頼らない触診や視診などの視点も説明を加え。全身で診察する意識付けとなるよう伝え方の工夫をした。		

5	周産期のケア		2	【妊婦健診と助産師外来】助産系24名中3名(1G)の学生対象。妊婦健診に必要な技術と妊娠期の保健相談の演習を担当。学生の知識を引き出し活かして実践できるよう雰囲気作りや環境調整を意識して関わった。
6	分娩期のケア		1	【内診】助産系23名の学生対象。内診手技の確認や診断の適正に加え、内診の意義・説明を産婦に行う実践をイメージすること、時間にも意識するようタイムキーパーを設ける工夫をした。
7	分娩期のケア		1	【産痛緩和】助産系24名の学生対象。産婦の陣痛に対する痛みの緩和方法を呼吸や体位などを一緒に行った。テキストではわからない呼吸の長さや強さ、マッサージの強さ、リズムなどを学生と一緒に実践することで理解を深める工夫をした。
8	分娩期のケア		25	【分娩介助技術】助産系24名の学生対象。分娩に必要な技術練習を担当。分娩時の産婦の状況に合わせた介助ができるよう、各場面の事例を提示しながらポイントを説明するなどイメージ化図れるよう工夫した。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	母性看護学実習		5/11-7/1	3年生対象に産科病棟を7週間臨地実習と学内実習を(各1)担当。臨地、学内ともに学生のレディネスを踏まえて丁寧に関わり、実習の質を同等に保って工夫したため、学生は実習目標を達成できていた。
2	総合実習		7/13-7/30	助産系4年4名対象に1施設3週間実習担当。習得知識・技術を活かせるよう調整した。学生の個性に留意して意欲が引き出す関わりにより看護の楽しさややりがい、助産学実習への意欲が強まった。
3	助産学実習Ⅱ		8/23-10/1	助産系4年生4名対象に1施設6週間実習担当。看護意欲と心を込めた介助につながるよう丁寧に関わった。産婦が満足感得られるお産になるよう、関わり方や看護モデルになるよう努めることも工夫した。
4	助産学実習Ⅱ		11/8,11/9	助産系4年生4名対象に1施設2日NICU実習担当。学生の看護観が見出せるよう、学生の考えや思いをCFで共有し、思考の発展に努めた。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.5-2022.3	主指導	副指導 2名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	学生相談	通年	3-4年の10名の学生の家庭や実習、教員とのかかわりで悩み相談を対応。学生の訴えに傾聴し寄り添うことを心がけた。
2	進路相談	通年	約15名程の看護・助産系3・4年生の進路相談を対応。臨床での経験を活かして大学・総合・クリニックなど各施設の特徴を伝える工夫をし
3	就職試験対策	通年	2名の看護3年生の就職試験の相談を受け対応した。面接の雰囲気に対応できるよう面接官役を担い練習により学生の安心につながった。
4	学内代替実習（母性看護学実習）の教材等の作成	2021.4～2021.6	母性看護学実習(臨地実習)による代替として、臨地実習経験の少ない学生に、可能な限り臨地に近い形態を検討し、実習教育の質を担保に努めた。模擬褥婦・指導者の設定、電子カルテや教材モデル等を活用し、コミュニケーションや観察から情報収集ができる学内代替実習を実施。

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	2021年度埼玉県立大学専門職講座	看護学科 母性・助産領域	キャリア開発研修（助産師）	2022.2.26
2	ホームカミングデー2021	看護学科 母性・助産領域	助産師交流会	2021.10.31

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	第12回学術集会 企画準備・実行委員	2021.4/16-12/31

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	学生支援		1.)助産系3年・4年生交流会 2.)就職ガイダンス3運営	1.)2021.10 2.)2022.2.18
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	優秀演題賞(第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会)		第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会	2022.3.18
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			